

# 令和2年度 熊本県中学選抜ハンドボール交流大会 要項細案

- 1 日 程 令和2年10月4日(日)
  - 開 場 8:00
  - 開始式 8:30 (中学生のみ参加)
  - 競技開始 9:30
  - 競技終了 16:30
  - 閉会式 行わない
  - 片付け 競技終了後、中学生で行う
  - 終 了 17:30
  
- 2 会 場 松島アロマ  
〒861-6102 上天草市松島町合津 4276-23 TEL 0969-56-0777  
※新型コロナウイルス感染症の状況により、会場が使用できなくなることもある。
  
- 3 関係書類
  - (1) 参加申込書 令和2年9月25日(金)締め切り  
大会事務局へ、Eメールでの提出すること。
  - (2) 参加同意書 大会当日、受付時に各チーム選手分をまとめて提出すること。  
選手1人につき、1枚作成すること。(保護者の署名、捺印)
  - (3) 利用者名簿 大会当日、受付時に各チームまとめて提出すること。  
「チーム関係」「応援(保護者含む)」を作成すること。  
名簿に記載されていない者は、大会当日に会場に入ることはできないこともある。
  - (4) 健康記録表 選手1人につき、1枚作成すること。  
大会の前後2週間(9/20~10/18)の記録をとること。※上記(1)~(4)については、熊本県ハンドボール協会HPからダウンロードし、作成や使用すること。
  
- 4 組み合わせ
  - (1) 組み合わせは、主催者に一任する。
  - (2) 高校チームについては、熊本県ハンドボール協会強化・指導委員会から推薦を受けたチームが参加することとする。
  - (3) 決定したら県協会HPにアップをするとともに、各チームにFAXにて連絡する。
  
- 5 開・閉会式
  - (1) 三密を避けるため、開始式は、中学選抜(中学生)のみで行う。
  - (2) 開始式は、ユニフォームまたはチームシャツ等で揃えること。  
参加者は、チーム役員、登録選手(中学生)に限る。
  - (3) 閉会式は、行わない。第4試合終了後、片付けを行う。
  
- 6 競技方法
  - (1) 形式
    - ・男女ともに、中学選抜は2試合、高校チームは1試合とする。
    - ・高校チームは試合時間に合わせて、会場に到着し、自チームの試合が終了したら各チーム監督の指示のもと、解散とする。(会場に早く到着したり、最後まで残って試合観戦したりしないこと)
  - (2) 試合時間
    - ・25分-10分-25分とする。
    - ・タイムアウトは、前後半で3回までとする。
    - ・試合終了時に同点の場合は、7mスローコンテスト(5人)で勝敗を決定する。
  - (3) 競技規則
    - ・2020年度日本ハンドボール協会競技規則に準じて行う。

- ・松やにおよび粘着スプレーを禁止する。粘着テープは使用可とする。
- ・男子試合に関しては、チェンジボールを行い、カテゴリー別ボールサイズに対応する（高校3号球、中学2号球）。しかし、試合展開次第では、チェンジボールを行わずに、プレーを継続することを認める。

## 7 対策事項について

### (1) 新型コロナウイルス感染症対策について

#### ①交流大会参加にあたって

- ・参加するにあたって、学校（所属）長の承認を得ること。
- ・中学生、高校生（部員全員）には、健康記録表（別紙）を記入させ、健康状態を把握する。
- ・健康記録表は、9/20（日）～10/18（土）まで記録をする。（交流大会前後2週間）
- ・監督は、会場利用者名簿（別紙）を作成し、大会当日受付時に提出する。枚数が複数になる場合は、コピーして作成すること。
- ・参加者は、「選手（部員）」「チーム関係者」「応援（保護者含む）」「大会運営団体（熊本県ハンドボール協会）」「その他（他高校チーム監督、中学校教員等）」に限る。ただし、検温、消毒、マスク着用などを義務付け、会場利用者名簿に記載する。今後の状況によって、さらに入場規制が定められることもある。
- ・「選手（部員）」は、本交流大会参加同意書（別紙）を提出した者に限り参加を認める。
- ・参加同意書は、保護者が項目にチェック後、署名捺印し、監督に提出する。
- ・監督は、参加同意書の原本を大会当日受付時に提出すること。ただし、各チームでコピーをとり保管をしておくこと。

#### ②交流大会当日について

- ・全員マスクを着用する。ただし、競技中はマスクを外して行う。
- ・チーム役員、控え選手等は、マスクを着用する。
- ・選手の送迎は、保護者による送迎とし、バス移動など密を避ける。
- ・主催者でも消毒液等は準備をするが、各チームでも感染防止対策を十分に行うこと。
- ・観覧席は、チーム単位で場所を設定し、席は1つあけ、前後一列あける、対角に使用するなど、ソーシャルディスタンスを行う。
- ・応援は、鳴り物やメガホン等は使わないこと。マスクを着けて応援する。
- ・フロアへの入場は、チーム役員、登録選手、大会運営団体（オフィシャル含む）に限る。
- ・試合前、ハーフタイム、試合後には、消毒作業を行う。
- ・ベンチは間隔をとり、前後交互に設置する。
- ・試合前、試合後の選手同士のタッチはしない。挨拶のみとする。
- ・換気をしながら空調を使用する。（室温は、そこまで下がらない。）
- ・こまめに手洗い、うがい、手指消毒等を行うこと。
- ・三密を避けるために、長時間によるチームでのミーティング等は行わないこと。

#### ③交流大会後について

- ・十分に家庭で休養をすること。
- ・健康記録表を使用して、健康状態を把握する。（10/18までは確実に行うこと。）
- ・各チーム、各家庭で引き続き、感染防止対策をとり、活動や生活をしていくこと。

### (2) 熱中症対策、ケガ防止について

- ・状況によって空調設備を使用する。
- ・可能な限り、換気をしながら行っていく。
- ・三密の状況を避けるために給水タイムは設けないが、タイムアウト3回は積極的に使う。
- ・試合数を最大2試合とし、試合間を十分に確保する。
- ・その他、各チームで準備しておくこと。（スポーツドリンク、OS-1、クールダウン氷等）